

令和3年度国立研究開発法人森林研究・整備機構入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和4年2月25日（金）森林総合研究所特別会議室	
委員	鬼沢浩志（一般財団法人建築保全センター参事）、鈴木一美（元会計検査院第3局環境検査課長）、二井矢句子（弁護士）	
審議対象期間	令和3年1月1日～ 令和3年12月31日	
対象案件	総件数：19件（抽出案件：10件）	
	工 事	測量・建設コンサルタント
抽出案件（業種：抽出の視点）	<p>発注工事一覧表及び発注業務一覧表の中から、以下の工事及び業務を抽出。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関西支所研究本館外照明設備改修工事（電気工事：業種区分、応札者多数） ・ 森林総合研究所 B-30 棟他解体撤去工事（土木一式工事：業種区分、応札者多数） ・ 森林総合研究所 A-13 棟他空調用温水配管改修工事（管工事：不落随契） ・ 九州支所森林生物動態解析棟空調機更新工事（管工事：最低落札率工事） ・ 多摩森林科学園災害復旧工事（D工区水路工工事）（土木一式工事：修正設計業務との関係） ・ 多摩森林科学園災害復旧工事（D工区工事）修正設計業務（建設コンサルタント：随意契約） ・ 多摩森林科学園災害復旧工事（D工区工事）（土木一式工事：修正設計業務との関係） ・ 原種増産施設整備工事設計業務（建築士事務所：最低落札率業務） ・ 原種増産施設整備工事（建築一式工事：最大予定価格） ・ 原種増産施設整備工事監理業務（建築士事務所：不落随契） 	
一般競争入札	13 (6)	3 (1)
不落随意契約	1 (1)	1 (1)
随意契約	0 (0)	1 (1)
(議事)	<p>(1) 委員長選出 (2) 昨年度のとりまとめに対する報告 (3) 抽出案件に係る説明、審議 (4) まとめ</p>	
議事	委員からの主な意見・質問	森林研究・整備機構の回答
(1) 委員長選出	(委員の互選により鬼沢委員を委員長に選出)	
(2) 昨年度のとりまとめに対する報告	<p>昨年度のとりまとめ 【入札参加資格としての等級設定について、ある程度の考え方があった方が良いので引き続き検討すること。】</p> <p>→ 機構の回答を踏まえ、この件については了承。</p>	<p>「競争参加者選定事務取扱要領」に入札参加資格を定める際の等級設定の基準を新たに規定し、指定等級を拡大する場合等における運用を機構として統一した。 今後、運用しながらさらに見直す点があれば見直していきたい。</p>
(3) 抽出案件の審議	<p>【関西支所研究本館外照明設備改修工事】</p> <p>・ 特になし</p>	

	<p>【森林総合研究所B-30棟他解体撤去工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札公告に工事規模は記載していないのか。 ・きちんと産廃処分を行っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記載していないので入札に参加しやすいように入札公告に工事規模を記載することを検討する。 ・業者が提出するマニフェストによって産廃の最終処分を確認している。
	<p>【森林総合研究所A-13棟他空調用温水配管改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不落となった一般競争入札を随契協議に移行する目安があるのか。 ・目安の例としては、競争入札を2回行っても不落の場合、入札価格の落ち具合から、不落随契に移行するか判断する場合がある。 ・随意契約の金額見積りは、例えば3回行ったとすれば3回分の見積り額を記録に残すこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状では、目安は定めていない。 ・御意見を参考にして目安を定めることを検討したい。 ・今後は記録に残すこととする。
	<p>【九州支所森林生物動態解析棟空調機更新工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札価格が低かった理由を確認したときは、この理由を記録に残すこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は記録に残すこととする。
	<p>【多摩森林科学園災害復旧工事（D工区水路工工事）】</p> <p>【多摩森林科学園災害復旧工事（D工区工事）修正設計業務】</p> <p>【多摩森林科学園災害復旧工事（D工区工事）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修正設計の予定価格を積算する時に前回の設計である程度検討しているので安くすることはしなかったのか。 ・不落により修正設計を発注しているが、当初設計業務を委託するときに考えていた状況とその後の状況が変わってしまった理由を明確に整理する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・20%軽減している。 ・了解した。

	<p>【原種増産施設整備工事設計業務】</p> <p>【原種増産施設整備工事】</p> <p>【原種増産施設整備工事監理業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理技術者の資格要件に一級建築士と構造設計一級建築士となっているが、構造設計一級建築士は一級建築士を持っているので「又は」で設定するものではない。 ・監理業務は、一級建築士で問題ないを考える。特に設備設計建築士は凄く少ない。建築設計事務所に設備士がいることは少ないと思うので、かなり要件を縛っている可能性がある。 ・今回は1者であるが、複数になったとき、仕様書を見て高く入れ、最後に不落随契になり凄く安くなった場合、仕様書はそうのように読むのかと他業者からクレームが来る怖れがあるので、できるだけわかりやすくしていただきたい。監理業務は人工であることから、少なくとも良いということであれば応札者から見てわかるようにした方が良い。 ・公告や仕様書では、本当に必要なものは何か応札者に理解出来るように説明する事が重要と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・了解した。 ・どういう資格が必要か整理し、要件が縛りすぎとまらないようにしたい。 ・仕様書を見て応札者が積算に必要な事項がわかるよう検討していきたい。
(4)まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の抽出案件については特に問題はなかったと思われる。 ・不落となった一般競争入札を随契協議に移行する目安を整理することと、公告時の条件および仕様書での積算に必要な事項が応札者から見てわかるよう工夫することの検討をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本日御意見をいただいた内容を今後の入札に反映させるよう検討して参りたい。